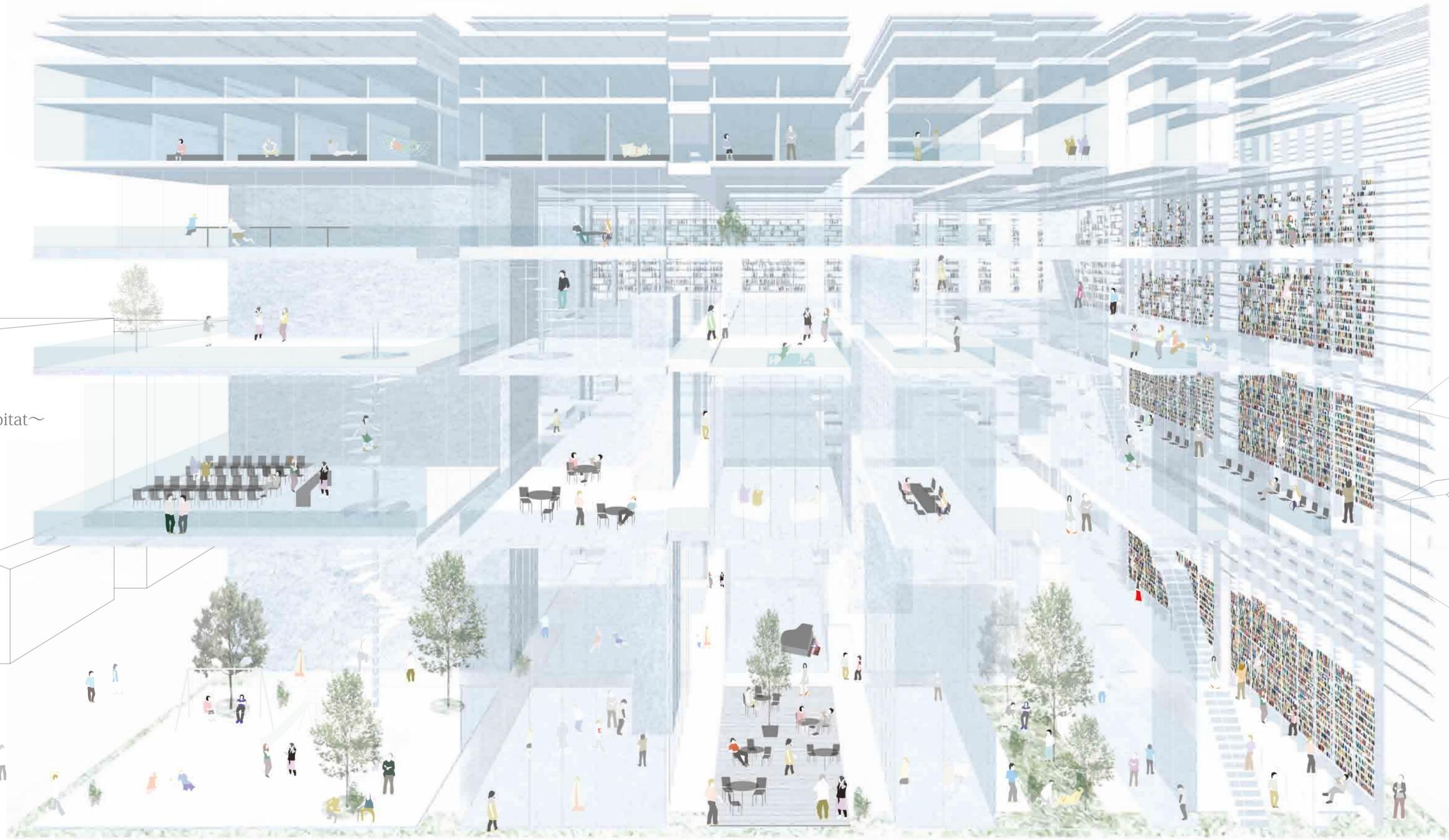


浸透する都市 ~moiré habitat~

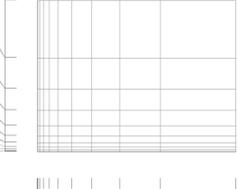
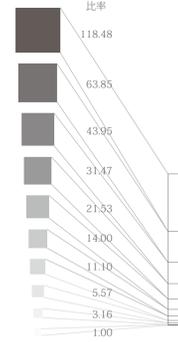


CONCEPT

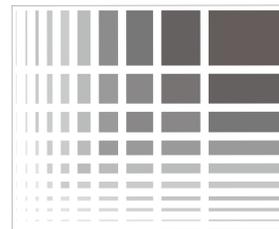
現在の住宅は最低限の寝食を行なう都市の中の閉ざされた場所になっているのではないのでしょうか。逆に人々は都市の様々な空間を共有し、日々の活動は都市の中へと消化されていきます。私達は、高さも幅も奥行きも異なる 1000 の空間を作り出します。ここでは 1000 の異なる何かが存在したり、行なわれたりします。都市には機能や場所、歴史に応じた異なるスケールが存在しています。そしてこの集合住宅には異なるスケールが集合しています。それらは空間の大きさ形によって多様な機能や場所、歴史をつくりだします。この集合住宅で生まれる、空間のグラデーションが都市と私たちの住まいをゆるやかにつないでいきます。



対象敷地に存在する緑地、公園、学校、寺院、図書館、商店、住宅を図面上の要素から、我々の身の回りのスケールとして、木と草花の平面積を割り出しこの街の 10 の異なるモジュールとする。

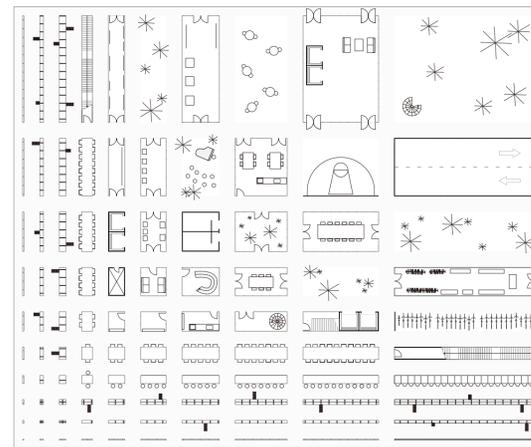


10 の異なるモジュールの比率を用いて奥行き、幅、高さに分割する。これによって 1000 の異なる空間が平面、断面両方向にグラデーションを伴って広がってゆく。



異なる空間の間には、均質な路地と吹き抜けが配置される。ここから風や光を取り込み、人々のアクティビティを吸収していく。

PLAN G.L. +4.000 1 : 400



SECTION 1 : 400

